

平成 28 年度第 1 回 羽島市本庁舎検討委員会 議事要旨

日 時	平成 29 年 2 月 3 日（金）午前 10 時 00 分から 12 時 00 分
場 所	羽島市役所本庁舎 委員会室
出席者	<p>〔検討委員〕 内田委員、木下委員、犬飼委員</p> <p>〔市関係者〕 松井市長、河出副市長、成原政策参事、堀総務部長、 事務局総務部管財課：入山課長、伊藤課長補佐、鈴木課長補佐、 株式会社浦野設計岐阜支社：栗木、加藤、都筑、馬場、杉山</p> <p>〔傍聴者〕 傍聴者 7 名</p>
要 旨	<p>事務局： 会議に先立ち、報道機関より写真撮影等の申出について委員の承諾をお願いする。</p> <p>委員： 承諾。</p> <p><u>1、開会・あいさつ</u> (委員の紹介) 委員の方 5 名のうち、3 名出席、2 名欠席。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学総合情報メディアセンター 教授 内田委員（出席） ・岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 木下委員（出席） ・岐阜工業高等専門学校建築学科 教授 犬飼委員（出席） ・岐阜工業高等専門学校建築学科 准教授 清水委員（欠席） ・元岐阜県職員 石川委員（欠席） <p>(情報公開) 事務局： ・本日は 7 名の傍聴希望を受けた。 ・羽島市本庁舎耐震強度調査検討業務委託の受注者である浦野設計岐阜支社も同席する。</p> <p>(委嘱書の交付) ・市長より各委員に委嘱書の交付 委嘱期間：平成 29 年 2 月 1 日から平成 31 年 1 月 31 日</p> <p>(市長より開会挨拶)</p> <p>(委員長・副委員長の選任) ・犬飼委員を委員長に推薦する声を受け、犬飼委員が受諾。 ・副委員長は、犬飼委員長からの推挙により内田委員が受諾。</p>

(委員長・副委員長より挨拶)

(諮問書の交付)

- ・委員会に対して市長より羽島市本庁舎の検討に関する諮問書を交付。

2、議題

(1) 既存市本庁舎の現況について

- ・庁舎内外を視察し、現状の施設配置・平面計画、躯体・仕上の劣化状況を確認する。
- ・配布資料について、株式会社浦野設計 栗木から内容説明を行う。

(2) 耐震性調査結果について

- ・配布資料について、株式会社浦野設計 加藤から内容説明を行う。

事務局：

- ・補足説明として、液状化の可能性は庁舎周囲のみではなく羽島地域全体が同様の地盤であると想定される。

委員：

- ・既存庁舎の基礎について説明をお願いしたい。

浦野設計：

- ・鉄筋コンクリート杭を10mの長さで打っている。近年ではPHC杭などが採用される場合が多いが、鉄筋コンクリート杭は耐震的に弱いところがある。10mの位置におけるN値は15～20程度しかなく、杭の本数を多くして支持させていると考えられる。

委員：

- ・設計当時のボーリング調査結果は残っているか。また、当時、中間層を支持層とするといった考えがわかる資料は残っているか。

事務局：

- ・設計当時（昭和34年）のボーリング資料は無い。

委員：

- ・診断にあたり議場は4階部分と考えているか。

浦野設計：

- ・議場は4階部分と考えている。

委員：

- ・用途係数 1.25 を採用しているが、市庁舎等に求められる一般的な値か。

浦野設計：

- ・国土交通省の基準では、庁舎・警察署・消防署等の防災拠点は 1.5 が望ましいと書かれている。15 年程前、岐阜建築士事務所協会が耐震診断した際に用途係数 1.25 を採用されているため、今回も 1 つの目安として 1.25 を採用した。

委員：

- ・建物を今後、継続して利用するとすれば、こういった形で使うかにより目標値を別途決める必要があるということによいか。

浦野設計：

- ・そのような認識で問題ない。

委員：

- ・5 階では圧縮強度の小さいコンクリート供試体も含まれているが、圧縮強度試験結果のバラつきについて平均値にするのは耐震診断をする上で一般的か。

委員：

- ・耐震診断をする上で一般的である。現実的に、コンクリート供試体を抜ける位置も限られるため、このような方法を用いる。

委員：

- ・設計基準強度が 17.6 とすると、試験結果は全体的に少し低いように感じる。
- ・建設当時、生コンクリートの有無について工事記録は残っているか。

事務局：

- ・記録として残っているものは、青焼き設計図以外にはない。

委員：

- ・施工については入念にやられているように見受けられた。
- ・問題は構造的なところという印象を受けた。

(3) その他

委員：

- ・市役所としての機能を考えた際に、地震だけでなく、洪水対策も考慮すべきではないか。

事務局：

- ・平成 19 年に 1 階の一部が浸水した事例がある。洪水への対策も検討すべきである。

委員：

- ・外壁は補修されているものの、さらに劣化が進んでいるように見受けられた。落下による市民の方々に対する危険性も考慮すべきと思われる。

浦野設計：

- ・ご指摘いただいた外壁の落下、爆裂については、市民の怪我に繋がる可能性がある。庁舎を残す時には必ず、早急に手当をしていただく必要がある。

(4) 今後の予定について

3月22日 14:00～ 第2回 検討委員会を開催予定

3、閉会

以上